

# 議会からのお知らせ

令和7年第1回市議会定例会が開催されました

## 令和7年度東海市一般会計予算など37議案を可決

日程	内容	概要
3/3	本会議	・令和7年度東海市一般会計予算など30議案を上程、説明
	議会運営委員会	・人事案件の候補者などについて協議
3/4	本会議	・一般質問(6人)
3/5	本会議	・一般質問(5人)
3/6	本会議	・3/3に上程された30議案に対する質疑、所管の各委員会に付託 ・議案1件を上程、説明、質疑、委員会付託
3/11	総務消防委員会	・付託議案を審査
3/12	建設環境経済委員会	・付託議案を審査
3/13	文教厚生委員会	・付託議案を審査
3/14	議会運営委員会	・付託議案を審査 ・令和7年第1回市議会定例会第16日の運営方法などについて協議
3/18	本会議	・付託されていた31議案について各委員長からの委員長報告、質疑、討論、採決 ・同意議案3件を上程、説明、質疑、討論、採決 ・選挙管理委員及び同補充員の選挙を実施 ・委員会提出議案2件を上程、説明、質疑、討論、採決 ・意見書1件を上程、説明、質疑、討論、採決 ・令和7年度議員の派遣を上程し、派遣することに決定

## 今回可決された主な内容など

### 令和7年度当初予算額

- ◎一般会計…537億3,800万円
- ◎国民健康保険事業特別会計…90億5,510万円
- ◎後期高齢者医療事業特別会計…20億9,456万円
- ◎太田川駅周辺土地区画整理事業特別会計…4億9,905万円
- ◎加木屋中部土地区画整理事業特別会計…19億3,623万円
- ◎水道事業会計…31億7,952万円
- ◎下水道事業会計…96億458万円



▲議案件名・会議結果一覧

### 令和6年度東海市一般会計補正予算(第6号)

- ◎補正額…21億2,381万6,000円を減額
  - ◎予算総額…606億4,195万8,000円
- 減額となる主な事業は、鉄道事業者が施工する工事請負残などによる養父森岡線街路整備事業などです。そのほか、国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)、後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第4号)、加木屋中部土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)、水道事業会計補正予算(第4号)、下水道事業会計補正予算(第4号)などが可決されました。

### 選挙管理委員及び同補充員の選挙結果〔敬称略・任期は5/24(土)～〕

- ◎選挙管理委員  
稗田とし恵、森岡 厚、志水正道、青木和利
- ◎同補充員  
平田 修、早川浩司、神 勝幸、竹内 宗

## 一般質問

第1回市議会定例会の一般質問は11人の議員からありました。その要旨は次のとおりです。なお、紙面の都合上、一部割愛させていただきましたので、ご了承ください。

**質問** 夕焼け姫を東海市のブランド柑橘としていく上での課題及び支援策について

**答弁** 課題としては、ブランド柑橘として夕焼け姫を出荷するにあたり、品質を確保するために、糖度や酸度のほか、被覆資材の使用方法などの栽培工程においても基準を定めることが必要です。また、ブランド価値を保持するため、収穫された夕焼け姫の中でも、出荷の基準に達しているか差別化を図ることが重要であり、これらについて早期に生産者・関係機関と連携し、取り組む必要があると考えています。

ブランド化に向けた支援策としては、これまで実施している試験栽培研究、苗木や栽培用資材の購入費への支援、イベントなどでのPRを引き続き実施するとともに、今後は、出荷に向けた費用などに対して支援が必要になると考えていますので、引き続き生産者・関係機関と連携し、ブランド化を推進していきます。



**質問** 小嶋病院新病棟での診療の開始時期及び診療体制の把握について

**答弁** 医療法人贈恩会の小嶋病院の新病棟については、7年11月の完成に向けて建設が進められており、新病棟完成後、約3か月の移転準備を経て診療を開始する予定であると聞いています。

平成27年に開院した公立西知多総合病院が担う急性期医療との機能分化により、現在の小嶋病院の診療体制については、救急医療を伴わない回復期・慢性期医療を担っていますが、新病棟完成後の病床数についても、現在と同様の240床による病床機能を提供する予定であると聞いています。

また、外来診療についても、国が進める病院と診療所の機能分化などを考慮し検討を進めているとのことですが、現在のところ、診療科などを大きく変更する予定はなく、移転後の診療体制に大きな変更はないと聞いています。

**質問** 生物多様性を確保するために、生物調査を実施する考えについて

**答弁** 生物多様性の確保は、6年5月に国が閣議決定した第六次環境基本計画において、重点的施策の一つとして掲げており、本市としても、策定中の第3次環境基本計画において、第5章を生物多様性地域戦略と位置づけ、これまで以上に積極的に推進したいと考えています。

生物多様性の確保にあたっては、まず第一に、市内全域の生物多様性の実態を把握することが重要であり、その結果を踏まえ、市民・地域・団体・事業者・市が連携し、緑地や里山など本市の自然環境の保全・再生や広域的生態系のネットワーク化を進める中で、地域に根ざした多様な動植物が生息・生育できる環境を保全していくことを目指していきます。また、外来種の生息・生育状況について、情報収集及び市民への情報提供や啓発を行うとともに、関係機関などと連携しながら、生態系に影響を及ぼすおそれのある外来種の駆除対策を行なっていきます。

市内全域の生物多様性の実態把握は、生物の専門家を始め有識者による生物調査が必要であると考えており、平成7年度以降に市内全域での生物調査を実施していないこと、また市内で宅地開発や土地区画整理事業などが進んでいる現状を踏まえ、早期の生物調査の実施に向けて検討していきます。

**質問** マイナンバーカードの更新対応について

**答弁** 更新手続の対応については、待ち時間を減らすためにマイナンバーカードの専用窓口や、平日に来庁できない方のために月1度、日曜日に窓口を開設しています。また、来庁による負担を軽減するため、オンラインによる更新手続を可能とするよう国に対し要望しています。



**質問** スケートボードパークなどの環境整備について

**答弁** 誰もが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちを目指し取り組みを進めている中、5年度に市内のスポーツ施設の現況やスポーツに対する市場動向の調査を行い、スポーツ施設の在り方について検討をしています。

その中で、スケートボードやBMXについては、野球やサッカーなどの主要なスポーツに比べ競技人口は少ないものの、近年、東京やパリオリンピックで正式種目に採用されるなど盛り上がりを見せており、特に若い世代には、新たな文化の創造や情報発信において、影響力を持っていると感じています。

スケートボードパークなどについては、今後さらなる競技人口の増加が期待され、若者の可能性を広げることにつながることや、市内で楽しめる場所が少なく、路上や危険な場所で行なっている現状から、受け皿となる施設の必要性も感じているため、安全性の確保や周辺環境への影響などを検証するとともに、民間のノウハウを活かした施設の内容、管理・運営方法など、環境整備に向けて検討していきます。



**質問** 市民が実際に災害用物資を使って、慣れる機会を設ける必要性について

**答弁** 災害発生時においては、隣人や地域住民など周囲の人々と協力し助け合いながら防災・救助活動に取り組む「共助」が必要であり、そのため日頃から市民の皆さんには、いざという時に災害用資機材や備蓄品を躊躇することなく使用できるよう、それらの取扱い方法を習得し、災害時の対応能力を高めていただくことが大変重要なことであると考えています。

毎年、コミュニティと共同で開催している市民総合防災訓練、また、各コミュニティや町内会・自治会が主体となって実施する地域防災訓練では、避難所の防災倉庫に収納しているバールや油圧ジャッキなどを使用した倒壊家屋からの人命救出、包帯や折り畳み担架によるけが人の応急手当・搬送、また、地域イベントでの発電機や投光器の活用、備蓄食糧の実食体験などを実施しています。

今後も、地域で行われる防災訓練やイベント行事などが

災害用物資を活用する好機と捉え、中学校の空調機のLPガスバルクシステムを活用した炊き出しや、今後整備を進める貯留型マンホールトイレ、設置型組立式給水タンクを始め災害用物資をできる限り活用し、一人でも多くの市民の皆さんに知識や技術を深めてもらえるよう推進していきます。

**質問** こども未来会議で提案があった、信号機のない危険な横断歩道を安全に渡るための仕組みの設置拡大について

**答弁** 現在、本市における交通事故発生件数は減少しているものの、生活道路を始めとした身近な道路での事故が発生しており、特に通学路などの交通安全対策について重点的に取り組んでいます。一方で警察の交通統計資料によると、愛知県内の交通死亡事故のうち、約7割が交差点や交差点付近で発生しており、特に、「道路横断中による人対車両の事故」が多い状況です。また、市内の信号機のない横断歩道では、歩行者が横断する際に、ドライバーが横断者を見落とし、車両側が止まらない状況も見受けられます。

今回、こども未来会議において、信号機のない横断歩道を安全に渡ることができる仕組みについての提案がありましたが、明倫小学校区内において、地域の皆さんから子ども達の通行の安全確保の要望もあり、7年2月末に「横断者注意喚起灯」を設置しました。

「横断者注意喚起灯」については、横断者に対して、押しボタン式信号機に準じた装置に手をかざすことで、横断者側も必ず一旦停止し、左右の確認を促す効果があるとともに、ドライバーに対しては、横断歩行者がいることを点滅ライトの発光で注意喚起ができ、交通事故の抑止と、横断者・ドライバー双方の交通安全意識を高める効果があります。

今後「横断者注意喚起灯」の効果を検証するとともに、設置効果が高いと見込まれる横断歩道について、地域の皆さんや警察、学校、道路管理者とも協議を重ねながら、設置エリアの拡大を検討していきます。



**質問** 道路陥没を未然に防ぐための対策及び緊急輸送道路を優先に地中の空洞調査をする考えについて

**答弁** 一連の報道にある埼玉県八潮市で発生した道路陥没が重大な社会問題となる中、本市においても持続可能なインフラの維持管理と予防策を講じることは非常に重要であると認識しています。

本市の日常的な道路の維持管理では、市職員や委託業務による道路パトロール、行政協力員や市民からの連絡により、道路状況を目視で確認するとともに、青色防犯パトロール車2台に搭載した路面状況調査システムにより、道路表面の平坦性やひび割れを把握しています。また、市内では約50年前に民間の宅地開発で雨水管が整備された地区において、昨年度と今年度、マンホールと管路との接続部の老朽化が原因で道路陥没が発生したため、それぞれの年度で、レーダー車両による空洞調査を実施し、複数箇所の空洞を発見し補修しました。

ひとたび道路陥没が発生すれば交通の安全性だけでなく、地域のインフラ全体に影響を及ぼし、特に緊急輸送道路では、交通ネットワークが遮断され生活や経済活動に大きな影響を与えることが想定されるので、今後は、日々の路面状況の調査に加え、緊急輸送道路を中心とした空洞調査の実施に向けて検討していきます。

**質問** 不登校に関し、児童生徒・保護者の悩みの相談場所などの案内方法と、一層分かりやすく案内を行う工夫について

**答弁** 市内の小中学校では、児童生徒や保護者に向けて、スクールカウンセラーによる相談の日程を、学校だよりや保健だよりなどで伝えていきます。

また、必要に応じて担任や養護教諭から個別にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどへの相談について案内をする場合もあります。

さらに、教育委員会学校教育課で行なっている教育相談の実施場所や電話番号を「広報とうかい」に毎月掲載し、周知を図っていますが、より分かりやすく案内するための方策について、今後、改善に努めるため先進事例などの調査研究をしていきます。

**質問** 平和首長会議に加盟する自治体としての被爆80年の取り組みについて

**答弁** 現在、平和行政を推進する中、原爆被害に関するパネルや市所有の戦争に関する実物資料の貸し出しを実施するなど、市民団体やNPO団体などの取り組みを

支援しており、また、平成20年度から始まった沖縄体験学習では、本市の中学2年生全員を対象に、集団自決碑やひめゆりの塔、平和祈念公園の見学、語り部の方から実際の戦争体験の講話をとおして、より身近に戦争のおそろしさや悲惨さを感じ、平和の大切さを学んでいます。

これまでの事業に加え、7年に迎えた戦後80年の節目の周年事業では、将来に渡り被爆者の体験など、戦争の悲惨さ、平和の大切さが、若い世代を始めとするより多くの世代の皆さんに伝わる機会となるように取り組んでいきます。

具体的には、7年の8月を周年事業の期間とし、中央図書館などの市内複数会場において、被爆の実相について理解を深める「原爆と人間展パネル・被爆の実相ポスター」の巡回展示のほか、平和の大切さや戦争遺跡を次世代に引き継ぐため、創造の杜交流館を活用し、大学生などの若い方による市内の戦争遺跡である太佐山高射砲陣地跡の映像制作や戦争に関する映画上映を計画しています。

**質問** 中ノ池護岸改修工事の進捗状況及び今後の計画などの周知について

**答弁** 中ノ池の護岸改修工事については、池の周囲を囲んでいる老朽化したコンクリート杭などが、園路や樹木に被害を及ぼすおそれがあるため、2年度から毎年護岸改修工事を行なっています。

進捗状況としては、全体延長約543mのうち、6年度末では約345mが完了予定であり、進捗率は約64%となる見込みです。

今後の予定ですが、本工事は愛知県土地改良事業費等補助金を活用しているため、工事の進捗は補助金額により影響されますが、早期の工事完了に努めていきたいと考えています。

また、工事の進捗状況及び今後の計画などの周知について、本工事は池の中での作業となることから、道路内での工事とは違い、住民生活への影響が少ない工事であるため、説明会を開催する考えはありませんが、住民の皆さんが常時情報収集できるよう、すでに実施している市HPでの周知のほか、現場にも新たに看板を設置するなどし、来園者に対しても周知していきたいと考えています。

詳しい質問の内容については、QRコードをご覧ください。

